市民の願いで市政うごかす

日本共産党 2名を市政へ

住民の苦難軽減こそ日本共産党の立党の精神。この立場で市民の願い実現へがんばってきました。

市議会の態度　○賛成、×反対、－当時議員でない　欠＝欠席、議＝議長で議決なし

	共産		兼城ク			南海ク			市翔ク		結びの会		公明		良徳糸会		日々草		無会派	
	まえだ潤	浦崎暁	山内竜二	長嶺安浩	金城寛	山城渉	西平賀雄	黒島新	玉城博光	金城一文	金城悟	金城敦	新垣安彦	金城幸盛	玉城良	徳元敏之	大城むつみ	関屋安莉	伊敷郁子	平田健人
地域福祉センター整備事業8億475万円を減額する修正案 2025年3月議会	×	×	×	×	議	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	欠
沖縄を再びいくさばにさせないための陳情 2025年6月議会	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×
健康保険証の存続を求める陳情 2024年6月議会	○	○	×	×	議	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	×	×	－	○	×
燃料油価格の高騰への対処を求める意見書 2023年9月議会	○	○	×	×	議	○	○	－	－	×	○	○	×	×	－	○	×	－	○	○

負担増に「待った」

小中学生の給食費が半額に

- 「憲法では、義務教育費は無償。学校給食費の無償化を」と10年前に提案。
- 「給食費の約25％にあたる牛乳代だけでも助成を」など、今期、本会議で7回質問。
- 県が給食費の補助を打ち出すなか、今年4月から半額になりました。

就学前までの国保税が軽減

- 「生まれたばかりの赤ちゃんに1人あたり2万7千円、大きな市民負担」と、子どもの均等割廃止をくり返し求めてきました。
- 2022年度から、国・県・市支援で、就学前まで均等割が半額になりました。

願い実現へトコトン

子ども医療費助成を一歩ずつ拡充

～2003年9月	入院・通院が3歳未満まで
2003年10月	入院が5歳未満まで
2005年4月	入院1日700円の自己負担なし
2007年10月	入院が就学前、通院が4歳未満まで
2008年4月	通院が就学前まで
2012年4月	入院が中学卒業前まで
2014年3月	自動償還払いに
2018年10月	現物給付（窓口払いなし）
2022年4月	通院が中学卒業前まで

元県議
玉城ノブ子

私たち日本共産党は、市民と署名を集めて、浦崎トヨ市議や、私が市議時代の1970年代から、子ども医療費無料化の拡充を求めて、一歩ずつ拡充してきました。
　高校生も無料にするために、がんばります。

国のひどい政治に立ち向かう

国への意見書案の提出者になり可決

- 加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度創設求める意見書（2024年12月議会）
- 物価上昇に見合う公的年金の引き上げ意見書（2024年12月議会）
- 訪問介護費の引き下げ撤回意見書（2024年6月議会）
- 保険税引き下げ、減免制度拡充等、国保制度改善求める意見書（2024年3月議会）

オール沖縄のカナメ、反戦・平和つらぬく日本共産党

遺骨が混じった土砂を新基地に使わせない

一度否決された新基地建設の賛否問う県民投票予算が可決

　2018年に辺野古新基地建設の埋め立ての賛否を問う県民投票予算が市議会でいったん否決に。日本共産党は、あきらめず、県民投票実施を求めました。
　市民の世論で予算が再び議題に。日本共産党は「市民の権利を守り、県民投票を実現させよう」と訴えました。可否同数となり議長裁決で可決されました。

遺骨などを含む土砂埋め立てに使用しない意見書可決

　日本共産党は、2021年3月議会で「戦没者を冒とくする土砂採取の断念等を求める意見書」を提案しましたが、否決されました。
　あきらめず、2021年12月議会で「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋立てに使用しない意見書」を提案、賛成多数で可決。

赤嶺衆院議員らは、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松代表の案内で、沖縄戦当時の全身遺骨が見つかった糸満市束辺名の現場を視察。